



—家が人間を喰って生きていた……

家

カレン・ブラック◆オリバー・リード
リー・モンゴメリー◆バージェス・メレディス◆ヘティ・デイビス
アイリーン・ヘッカー◆タブ・テイラー

〈カラー作品〉

"BURNT
OFFERINGS"

製作・監督ダン・カーチス
脚色ウィリアム・D・ノラン／ダン・カーチス
音楽ロバート・コバート◆原作ロバート・マラスコ(早川書房刊)



ユナイテッド映画
United Artists



"BURNT OFFERINGS"

■スタッフ 製作・監督……………ダン・カーチス
 脚本……………ウィリアム・F・ノーラン
 原作〈早川書房刊〉……………ロバート・マラスコ
 撮影……………ジャック・マルクエ
 音楽……………ロバート・コバート
 製作デザイン……………ユージン・ローリー

■キャスト マリアン……………カレン・ブラック
 ベン……………オリバー・リード
 アーノルド……………バージェス・メレディス
 ロズ……………アイリーン・ヘッカート
 テイビッド……………リー・モントゴメリー
 エリザベス伯母……………ベティ・デイビス
 アラダイス夫人……………?

〈カラー作品〉
United Artists
 A Transamerica Company
 ユナイテッド映画



■UAパラサイコ・シリーズいよいよ佳境へ
 —第2弾の恐怖テーマは
 〈ボゼッション〉

全く新しい恐怖タッチで全世界を唸らせた秀作サスペンス「キャリー」に続く待望のUAパラサイコ・シリーズ第2弾がやってきた。「キャリー」のテレキネシスに続く今回のテーマはボゼッション(憑依=憑きもの)。タイトルはズバリ「家」。76年度全米恐怖映画協会グランプリをさらい、昨夏の全米興行で、同種の話題作「オーメン」を尻目に堂々第一位を張った話題の恐怖大作なのだ。

主演は「ファミリー・プロット」のカレン・ブラックと「四銃士」のオリバー・リード。これに名子役リー・モントゴメリーと大女優ベティ・デイビスが共演。ロバート・マラスコの正調ゴシック・ロマンの原作を図抜けた構成の恐怖エンタテイメントに仕上げたのは、全米TV界でその人ありと知られたスリラー映画の職人ダン・カーチスである。

■人が食べられてゆく！
 誰が、どんな力を使って、何のために！！

ニューヨークの高校教師一家(リード、ブラック、モントゴメリー、デイビス)が夏休みの二ヶ月を静かな田舎で過そうとロング・アイランドにある人里離れた別荘へやってくる。死んだような静けさの森の中、朽ちかけたビクトリア朝様式の威容が一家を圧倒した。館の主は車椅子に座りきりの兄とその世話をする妹の老兄妹。そして兄弟の85才になる母親が日がな一日二階の一室で暮らしているという。どことなくすえたムードと、気のせいとか立ちのぼる靈気。しかし、これから始まる水入らずのバカンスに浮き立つ一家に、それは問題にもならないささいな事がらだ。だが一家が逗留開始したその日から、何かが蠢きだした。得体の知れない不気味な存在が、待ち構えていたように確実に行動を起し始めた。もっと具体的には、ある種の〈食人鬼〉が、人間という生命ある供物をほおぼり始めたのだ！一体、その食人鬼の正体とは！！

■これぞ映画史上最高の
 ショッキング・ラスト！
 あなたはどこまで堪えられるか！！

観終わった後、これほど疲労感を感じるサスペンス映画も他に類がないのではないか。締めつけるように漸層的に強まっていく恐怖感がそれに続くラストの意表を衝くショックシーンを強烈に観るものに印象づける。思わず知らず金縛りになり、一家の悲劇の運命に感情移入している自分に気がついてハッとするのはドラマも中段にさしかかったところだ。それまでじわじわと伏線が張られていたプロットはそこから息もつかせぬショック・ラストへ急転回する。そして、人智の枠を超越したミステリーゾーンを支配する〈悪〉が思いもかけぬ姿で我々の眼前に登場する！！

■このドラマの主人公は家だ！
 凄い映像効果とスケール
 そして不吉な伝説！

この映画の撮影はカリフォルニア州オークランドにある“ダンズミュア・ハウス”を使って行われた。現在、市の歴史・文化センターになっている建物だが、そもそもは19世紀の富豪アレグザンダー・ダンズミュアがその新婚生活用に建てたものだった。部屋数は37。コリント式柱、ギリシャ風切妻、イタリヤ調の装飾が施された邸宅は当時の金で35万ドルという莫大な費用をかけたというから、そのスケールはしのばれよう。しかし当主のダンズミュアは新婚旅行の途次怪死し、彼の親友の妻だった新妻も1年半後、夫の後を追うようにガンで亡くなっている。映画の雰囲気をはうぶつさせるような不吉なスタートを切っているのがこの〈家〉なのだ。

4月23日 恐怖の
 大ロードショー
 特別ご鑑賞券 ¥900 (全額200円(大学生1100円)の値) 発売中！

銀座・池袋・レックス共通 連日 11:50 2:05 4:20 6:35 新宿 連日 11:45 2:10 4:35 7:00
銀座東急 (571)3411 **池袋東急** (971)2727 **東急レックス** (407)7019 **新宿叢パラ** (351)3061
 ●東急レックスのみ月曜日は 2:05の回にて終了